

# 教員の資質能力向上に係る特配（CT 特配）活用推進事業報告書 「若手教員育成プロジェクト」について

大泉町立南小学校

## 1. はじめに

大泉南小では、CT(コアティーチャー)特配教員を活用し、メンター研修を中心とした若手教員育成プロジェクトを実施しました。メンター研修とは、リーダーを中心にメンターとメンティーが一つのチームとなり、互いの資質能力を高める人材育成システムのことです。お互いの課題を相談・共有・助言し合うことで学び合い、機能を高め合います。このプロジェクトを推進していく中で、対話を重ね、互いの関係が深まり、相談しやすい雰囲気が生まれました。 ※OJT (On-The-Job-Training) も意識して実践しました。

### (1) ねらい

- ・先生方が日頃抱えている悩みや不安解消に向けて気軽に話ができる場をつくる。
- ・経験のある先生方（中堅教員・ベテラン教員等）から、学習指導や生徒指導等に関する様々なノウハウを教えていただき、教師としての指導力向上及び資質向上を目指す。

### (2) 方法

- ・運営委員会の時間と並行して開催する（年間10回程度）。
- ・若手教員（およそ10年未満）を中心とするが、運営委員会に参加していない教員も参加できる。
- ・テーマを決めて、日頃の悩みや不安、課題としていること等について意見を出し合い、それを解消していけるようにする。
- ・時間は20～30分程度とする。

### (3) 日程とテーマ

- ① 6月21日（木）「メンター研修について」（研修主任）
- ② 7月23日（月）「生徒指導について」（小沼先生）
- ③ 9月 3日（月）「陸上競技（リレー）について」（大谷先生）
- ④ 10月15日（月）「後期指導主事訪問指導案検討、模擬授業」（授業者）
- ⑤ 11月12日（月）「後期指導主事訪問に向けた環境整備」
- ⑥ 12月 3日（月）「跳び箱の指導について」（井上先生）
- ⑦ 1月 7日（月）「人権教育について～DVD視聴～」（金井先生）
- ⑧ 3月26日（火）「1年間の振り返り」（研修主任）

## 2. メンター研修の実際

### (1) 「生徒指導について」（小沼先生） 実施日：平成30年7月23日

生徒指導主任の小沼先生に、生徒指導の基本的な考え方について話をしてもらいました。「自分たちが普段当たり前のように行っている児童への働きかけのほとんどは生徒指導である。」ということからスタートし、生徒指導で大切なことやいじめの定義について詳しく教えてもらいました。最後に、発達障害を有する児童のいじめについての事例について考え、「保護者の主張をどう考えるか」や「学校としての対応の問題点」などについて考えを出し合いました。身近に起こりうる事例だったため活発な話し合いになりました。



## (2) 「陸上競技（リレー）について」（大谷先生）

南小の運動会の種目になっているリレーのバトンパスについて大谷先生に話をしてもらいました。バトンパスの差でかなりのタイム差が出ることや、バトンパスの練習の仕方のコツを聞くことができました。バトンを渡す人のポイントや受け取る人のポイントを実際に見せてもらったので説明だったのでとても分かりやすく参考になりました。また、休み時間に練習するときには気をつけることや、遅い児童が目立たないような練習方法も教えてもらいました。すぐにでもクラスで実践できる内容でした。

実施日：平成30年9月3日



## (3) 「跳び箱の指導について」（井上先生）

実施日：平成30年12月3日

はじめに、跳び箱と踏み切り板の設置の仕方についての話がありました。跳び箱の台数に限りがある中でどうすれば効率よく、児童の運動量を確保できるか教えてもらいました。次に、跳べない児童を跳べるようにするための方法を実演しながら教えてもらいました。跳び箱を苦手としている児童も多く、指導法に課題を感じていた先生が多かったため、とても参考になりすぐに生かせる内容の研修でした。



### 3. 実施後の感想

- それぞれの先生の得意分野を生かし、必要感のあるテーマを設定したことにより、資質向上につながりました。
- メンター研修は、少人数での研修だったため、分からなかったことや疑問に感じていたことを質問しやすい雰囲気がありました。色々なことを、とても分かりやすく教えていただくことができ実践に生かせました。
- 先生方が普段行っている指導方法等を知り、実践に生かすことができました。とても自分自身の勉強になりました。
- いろいろな先生方のこれまでの経験や積み重ねを教えていただくことができ、とても勉強になりました。今後の指導で、この研修を生かしながら、自分の指導力を磨いていきたいと思います。

### 4. 成果と課題

#### (1) 成果

- ・メンター研修が、若手教員とその他の教員との情報交換の場となった。また、他の学年の先生方と学年のことや教科指導のことなど普段なかなか話せない先生方と話をすることができた。職員室でも聞いたり話したりしやすい雰囲気ができている。
- ・どの研修もすぐに実践できる内容であったため先生方のスキルアップにつながった。

#### (2) 課題

- ・運営委員会の裏で行っていたため、ベテランの先生方に話をしてもらう機会をあまり作ることができなかった。運営委員会の裏以外の開催もあるとよかった。
- ・どんなことを研修したのか参加した先生以外の先生方に伝えられるような工夫があるとよかった。
- ・実技教科が多くなってしまったが、国語や算数などの研修も行えるとよかった。